

鴨居玲

生と死を見つめて



鴨居玲(自画像(絶筆))1985年 笠間日動美術館蔵

開館時間 午前9時30分〜午後5時(ただし、7月26日、8月30日、9月27日の金曜日は午後7時まで。入場は閉館の30分前まで。)

2024年7月13日(土) — 9月29日(日)

休館日 月曜日(7月15日、8月12日、9月16日、23日を除く)、7月16日、8月13日、9月17日、24日の火曜日

観覧料 一般1000(800)円、高大生600(400)円、小中生300(200)円

* ()内は団体(10名以上)、親子(高校生以下の子とその保護者)、リピーター料金(当館または道立美術館特別展観覧券半券提示)、もも特、くしろステイメンバースカード、北海道みんなの日(7月17日)の割引料金。* **予約**「そあっこ」: 釧路、根室管内在住の小中学生は釧路芸術館ボランティアの会SOAの招待事業により観覧無料。* 学校の教育活動による小、中、高校生(引率者含む)の観覧は無料。* 障がい者手帳、療育手帳等をお持ちの方及び付き添いの方は無料。特別支援学校の児童生徒及び引率者は無料。* 100円割引の日〜鴨居「玲」にちなんでゼロのつく日(10日、20日、30日)は100円引き。(他の割引との併用はできません。)

主催 | 北海道立釧路芸術館、釧路市、釧路市教育委員会、北海道新聞釧路支社、「鴨居玲」展実行委員会
後援 | NHK釧路放送局、FMくしろ
協賛 | 釧路芸術館ボランティアの会SOA
協力 | (公財)日動美術財団

Kushiro Art Museum

北海道立釧路芸術館
Kushiro Art Museum, Hokkaido

085-0017 釧路市幸町4丁目1番5号
TEL 0154-23-2381 FAX 0154-23-2386
<http://www.kushiro-artmu.jp>

SNSで最新情報を発信中

「北海道立釧路芸術館」で検索
@kushiroartmuseum
@kushiroartmu

SNSフォロー割 当館SNSのフォロー画面を受付で提示の方は100円引き。

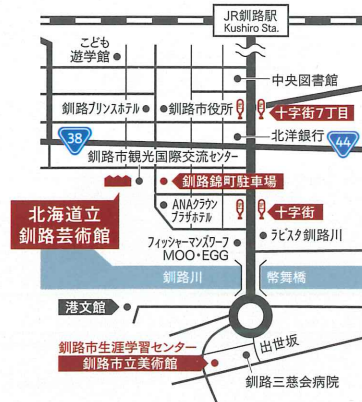
交通のご案内

- JR釧路駅から、徒歩で約15分(南へ約1.2km)。
- くしろバス「十字街」「十字街7丁目」停留所下車、徒歩で約5分。
- 釧路空港から市内行きバスで約50分、「フィッシャーマンズワーフMOO」停留所下車、徒歩で約2分。

来館者専用
駐車場 8台

本展をご観覧の方は、釧路錦町駐車場の利用が2時間無料になります。駐車券を当館受付にご提示ください。

【指定管理者】釧路芸術館共同事業体
【施設設置者】北海道教育委員会
(北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課 代表TEL 011-231-4111)





鴨居玲

生と死を見つめて

1. 鴨居玲《1983年2月3日、私》1983年
2. 鴨居玲《私の話を聞いてくれ》1973年
3. 鴨居玲《長谷川智恵子像》1974年
4. 鴨居玲《裸婦》1981年
5. アトリエの一隅。1985年9月
撮影：富山栄美子

すべて空間日動美術館蔵

鴨居玲は「人間とは何か」をテーマに、人間の心の闇や弱さを描き続けた画家です。自らの内面を見つめ、孤独感や苦悩を表現した作品の数々は、没後約40年を経た今も世代を超えて人々の共感を呼んでいます。

本展では、絶筆や遺書、構想メモなどを含む約70点により、鴨居の芸術世界を紹介します。

鴨居玲 略歴

- 1928年 石川県金沢市生まれ
- 1946年 金沢美術工芸専門学校(現在の金沢美術工芸大学)入学、洋画家宮本三郎に師事
- 1959年 初渡欧
- 1969年 安井賞受賞
- 1971年 スペイン滞在
- 1985年 神戸市の自宅で急逝



ポートレート

関連事業

プレミアム・トーク 聴講無料・要観覧券

日時 9月7日(土) 14:00~(約60分) 会場 アートホール

対談 長谷川徳七氏(空間日動美術館館長・株式会社日動画廊代表取締役社長)

長谷川智恵子氏(空間日動美術館副館長・株式会社日動画廊代表取締役副社長)

※9月7日(土)9時30分より当館受付で先着順に整理券を配布

※聴講者には、当日限定の団体割引券を配布

ギャラリー・ツアー 要観覧券

7月27日(土)、9月21日(土) 14:00~
7月26日(金) 18:00~ 会場 | 展示室

美術講座 入場無料

8月24日(土) 14:00~
会場 | アートホール

同時開催 地に人に写真に旅する

観覧無料

長倉洋海展

主催 北海道立釧路芸術館 後援 釧路市、釧路市教育委員会、釧路新聞社、FMくしろ

釧路出身の写真家・長倉洋海(1952生)は、紛争地や辺境の地など世界中を旅してきました。困難な状況や、特色ある風土や伝統の中で生きる人々をとらえた写真は、人間の内面にせまる表現として評価されています。

この展覧会は、人間を軸としながら戦場から地球へと関心を広げてきた長倉の活動と思索のあゆみを、当館所蔵作品と作家蔵の新作によりたどるものです。

関連事業 プレミアム美術トーク 長倉氏による講演会

7月13日(土) 11:00~12:00

会場 | アートホール 聴講無料

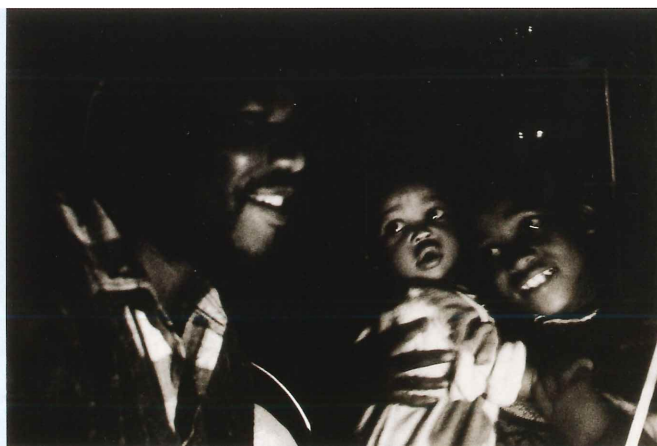
アーティストトーク 長倉氏による作品解説

7月15日(月・祝)、9月8日(日) 各日11:00~11:30

会場 | 展示室 要観覧券

ワークショップ 長倉氏による実践講座

8月11日(日)14:00~16:00 会場 | アートホール



長倉洋海《電気はないが、ランプの下で楽しそうに話す親子》1991-94年 ©Hiromi Nagakura

美術講座 入場無料

8月10日(土) 14:00~ 会場 | アートホール

ギャラリー・ツアー 要観覧券

7月28日(日)、9月22日(日) 14:00~

8月30日(金) 18:00~18:30

会場 | 展示室



関連事業の詳細については当館のウェブサイトをご確認ください

あわせてお楽しみください

アートシネマ館 入場無料 ※上映日程は変更になることがあります。

名作映画を大画面でご覧ください。

日時:7月27日(土)、8月31日(土)、9月28日(土)各日午前10時~

会場:当館アートホール

※入場者には観覧特別割引券(当日限定)を配布します。

上映作品

7月27日(土)すみっこぐらし 青い月夜のまほうのコ

監督:大森貴弘/2021年/70分

8月31日(土)ぼくたちと駐在さんの700日戦争

監督:塚本連平/2008年/110分

9月28日(土)きみの瞳が問いかけている

監督:三木孝浩/2020年/123分

夏のキッズ・アトリエ 参加無料

会場にあるリサイクル材料を

自由に使って、工作を楽しもう!

日時:7月27日(金)~8月25日(日)の開館日

午前9時30分~午後5時 会場:フリーアートルーム